

環境県民フォーラムだよ!り

VOL.24 2009年9月1日 発行

平成21年度総会が開催されました!



去る4月20日、エルトピア奈良で奈良県環境県民フォーラムの平成21年度の総会が開催されました。総会では、昨年度の事業報告の後、本年度で13年目を迎えるフォーラムの新たな10人委員が選出され、本年度の事業計画・予算が承認されました。

総会後には、気候ネットワークの事務局長で、奈良県ストップ温暖化県民会議委員でもある田浦健朗氏をお招きし、「家庭で取り組む

地球温暖化防止」という演題で記念講演をしていただきました。

講演は、現状の分析から始まりました。1900年～現在までの100年間で、すでに0.74℃気温が上昇し、今後100年間では、私たちが温暖化防止にできる限りの事をしても1.1℃上昇、現在の生活を続ければさらに6.4℃上昇すると予想されています。私たちが暮らしている地球環境は、微妙なバランス上に成り立っており、このまま温暖化が進行して、2℃を超えると元の状態へ回復ができなくなる、取り返しがつかなくなると言われています。すでに0.74℃、残りは約1.2℃しかありません。私たちがどのような選択をするかによって、今後が大きく変わると問題提起をされました。

また、温暖化に人類の影響はさほどなく、定期的な気候変動など自然現象が原因であるという話を聞いた事がありますが、人為起源と自然起源を実際にシミュレーションすると、温暖化の原因は人為起源であることがほぼ証明されているとお話でした。つまり、私たちの日々の生活がやはり温暖化に影響しているのです。

そして、一般家庭での取組として、3つの「S」を実践していただきたいと続けられました。3つの「S」とは、SAVE(節約)、SELECT(選択)、SHIFT(転換)です。SAVE(節約)は一般的に浸透しつつありますが、1つ進んで、省エネ家電購入やエコ活動に積極的な企業を応援するなどのSELECT(選択)。さらにもう1つ進んで、太陽光発電設置や自転車・徒歩での移動など生活自体を変えるSHIFT(転換)。SELECTもSHIFTも意識して、これら3つを実践してほしいと話されました。

最後に、「家族内では親は子に財産を残したいという気持ちがある。それをもっと社会全体まで広げて考えていただきたい。」と約1時間半のお話を締めくくられました。わかりやすく、現実味があって、また危機感のあるお話に、集まった約70名の参加者は熱心に聞き入っていました。(フォーラム事務局 野玉)



エコな～らライフ宣言募集しています。

今年は5月1日より、エコな～らライフ宣言を募集しています。お陰様で現在の宣言数は12953な～ら(8月24日現在)。12本の樹木を植樹できます。今年の植樹バスツアーは野外活動センター(吐山)で11月頃を予定しています。宣言の締切は9月30日。まだ宣言されていない方は、是非宣言し、バスツアーに参加しましょう。

宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信(0742-22-1668)
2. 宣言 web サイト(<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>)から宣言



大気分科会

エコな～らライフ宣言

大気分科会の活動として、昨年度に引き続きフォーラムの全体事業である「エコな～らライフ宣言」(ダイエットCO₂事業)の事務を担当しております。「エコな～らライフ宣言」とは地球温暖化の原因となるCO₂(二酸化炭素)を減らすため、各ご家庭で取り組める省エネ行動の中から自分にできるものを選んで「宣言」していただき、事務局で皆さんの宣言量を集計し、1000な～らで1本の苗木を県野外活動センターに贈呈するという活動です。

苗木の贈呈時には、宣言された方にご参加いただくバスツアーを11月頃に予定しております。

多くの皆さまに宣言いただくことでCO₂を吸収する緑が増え、さらなる温暖化防止につながります。多数のご参加をお願いいたします。なお、9月22日(火)に開催される「平成21年度 環境フェア」会場においても「エコな～らライフ宣言」の募集をしております。お気軽に大気分科会ブースへお立ち寄り下さい。

また、環境に優しいエコライフの提案および推進を目的とした「鍋帽子でエコクッキング」を平成22年1月21日(木)に開催予定です。ご案内は別途させていただきますが、[地球に優しく、簡単で安全、しかも手間が省ける]一石三鳥のお料理体験を是非お試しください。



自然環境分科会

菜の花便り ～大和の国・菜の花エコプロジェクト御所フィールド～

○「菜の花」。アブラナ科の植物の花の総称として日本の春の風景には欠かせないものです。冬野菜の名残として点々と散らばる黄色い模様は新緑に映え、暖かな季節のおとずれを告げます。「昔は一面菜の花の絨毯みたいに咲いていた」という話を聞いて驚き、理由を聞いて納得しました。昔は「菜の花」といえば「油菜」食用油としてはもちろんのこと灯油としても使われ、日本人の生活にかかせない作物の1つだったそうです。私たち「未来の環境を考える会」はその取り組みの1つとして「菜の花ぷろじえくと」を発足させ、エネルギーを消費するばかりでなく循環させるという資源循環型社会の実現にむけてのモデルケースとして地域の休耕田を利用し、アブラナを栽培し、収穫された菜種を絞り、その油を利用した後は廃食用油として回収後バイオディーゼル燃料として再利用するという取り組みを3年にわたって行っています。



エネルギー循環だけではなく、菜の花畑による景観保全、菜の花祭りや学校の子供たちに参加いただくことでの環境への関心を高めたり、収穫した天然無添加の食用油を使つての学校給食での試食や県内各所で行われている環境イベントでの成果発表など精力的な活動を行っています。また、会員有志による独自の廃食用油回収活動なども昨年よりはまりました。今後とも「楽しく、無理せず、環境を考える」というモットーで活動に取り組んでいきます。

(御所市未来の環境を考える会 神谷)

○各フィールドの菜種収穫は奈良市北永井20kg、佐保山66kg、田原本24kg、天理9kg、御所市300kgでした。また、新しく佐保山にフィールドが増え、奈良市地域協議会の活動として地元の小学校と連携して学校教育と土日の地域での活動とのつなぎ役をすることができています。廃食用油は御所市でも始まり、全体で約4,000ℓ回収できました。今年2月には奈良ロータリークラブが主催する環境イベントで私たちが集めた廃食用油で作ったバイオ燃料を使って終日2台の奈良市内循環バスが走りました。

(NPO法人宙塾 黒飛)

○その他のご案内(日程が決まり次第お知らせいたします。)

自然環境セミナー: 兵庫県立人と自然の博物館の鈴木武先生を講師にお迎えし、2月～3月頃に開催予定です。

親子自然体験教室: 11月にほっとねっととネイチャーゲーム協会が合同実施。3月に環境市民ネットワーク天理が実施。

《川の教室》の開催

水分科会では、平成21年7月19日(日)大和川河川事務所に集合して、河内橋上流部で『川の教室』を開催しました。昨年度、長瀬川での環境活動をしているアクアフレンズと共同で、大和川の上下流環境交流会を御所市の葛城川で行ったのですが、今回は下流の柏原市での実施です。当日は梅雨の最中で河川増水を心配しましたが、幸いにも雨が降らずに、参加の58名の子どもたち(上流側35名、下流側23名)は楽しい環境学習ができたと思います。

川の教室は、《大和川河川事務所による大和川の話》、《谷幸三先生による水辺での生物観察》、《大和川釣り人クラブによる投網での魚とりと水槽での川魚の説明》、《アクアフレンズによるパックテスト》や《水分科会による透視度計での水質測定》を3つのグループに分けて行うとともに、御所市婦人会中島会長の総括と谷先生の講話のあと、御所市婦人会の早朝手づくり弁当に満足し、《築留土地改良区による大和川からの分流見学》もありました。

この教室の実施では、以上のほかに御所市教育委員会、八尾市教育委員会、八尾土木事務所、中部農と緑の総合事務所など、総勢で55名の方々にご協力をいただいて、また奈良県保健環境研究センターから測定機材をお借りしました。この甲斐あって、安全であること、楽しいこと、学べることでの盛り沢山な環境学習を短時間に行うことができました。そして、子どもたちを6名程度の班分けにして、各班に2名の方が指導・監督で付き添っていただいたおかげで、盛り沢山の内容も円滑にこなせたと思います。

この教室の準備や後始末についても、作業や調整でご協力いただいた方々に感謝申し上げます。教室の主役は子どもたちですが、私たちも学ぶことが多々あったと思います。

子どもたちへのアンケートの結果では、水辺での観察などの体験は、環境への関心を持つ機会として、非常によかったという評価になっています。特に、魚や小エビ採りは、川に入っただけの採取と手で触る体感が印象に残ったようです。もちろん、パックテストなどの水質測定への関心もあり、「水を大切に」「ゴミを分別」の意識が生まれています。この体験も役立ったと思います。ただ、川の水を「きたない」と思った子と「きれい」と思った子がいるのは、私にとって、環境学習の奥深さを知らされます。

今回の教室については、水分科会でその実施内容をまとめて、9月22日の環境フェアで発表する予定です。

(NPO法人奈良環境カウンセラー協会 吉田)



ごみ減量・リサイクル分科会

21年度の分科会活動計画

1. レジ袋削減推進活動

- ・分科会のテーマとしてマイバッグキャンペーンやレジ袋有料化の動き調査等に長年取り組んできたが、今後もこの活動は継続していく。また、県のレジ袋削減協定策定準備会へ弊分科会の大村座長が環境県民フォーラム代表として参画
- ・レジ袋削減活動の一環として、街頭でのマイバッグキャンペーン活動実施。過去には天理市商店街、王寺町や奈良市学園前のスーパーで実施してきた。

2. 過去調査活動のフォロー

- ・県内市町村の有害資源ごみの回収状況調査
(県下の全市町村で「蛍光灯・乾電池」を回収。これは47都道府県中で奈良県だけのよう。)
- ・県内スーパーにおけるレジ袋辞退者への特典制度調査(ポイント制や値引き等、店により様々の実態あり。)
- ・県内市町村の指定有料ごみ袋の現状調査等 のデータ更新など。



3. 環境フェア等への出展とブースでの啓発

- ・分科会ブースにて賞品付きエコクイズを実施し、正解者にはリサイクル協会提供の缶ジュースを贈呈。クイズの答えは展示物の中にあり、よく読んでもらい勉強してもらおうのが目的。
- ・「県下での有害資源ごみ回収状況」やそのリサイクル工程のパネル展示
- ・県内市町村の「家庭ごみ袋有料現況」及び「レジ袋有料化の動き」についての実態調査結果をパネル展示

4. エコ見学会

- ・メンバー研鑽のため実施し、過去の見学先例としては、廃油のBDF化や産業廃棄物再資源化処理工場等々で、今年度は、今話題の廃食品のリサイクル(豚飼料化)工場を予定している。

(NPO法人奈良環境カウンセラー協会 森田)

環境フェア

日時：平成21年9月22日（火）10時～16時
場所：なら100年会館（奈良市三条宮前町3-1）

県内の環境保全活動団体が出展します。環境についてわかりやすく勉強できるパネルや、自転車発電・指編み教室などの体験スペース、最先端の低公害車の展示、小中学校の環境取組発表会など。会場でクイズラリーに参加すると、抽選でな～らちゃんストラップが当たるかも？

また、遊んで学べるわくわく広場（カルタ、紙芝居など）を開催、わくわく広場にはせんとくんも来ます！みんなで楽しくエコライフに取り組みましょう。

地域環境保全功労者表彰(環境大臣表彰) をフォーラム会員が授賞しました。

・NPO法人エコパートナー21

<コメント>

受賞は、長年にわたって地道に取り組んできたことへの評価だとたいへんうれしく思っています。私たちが代表して受け取りましたが、これまで活動にご協力頂いた、たくさんの方々全員にいただいた賞だと思います。ありがとうございます。今後、子どもたちの未来の為に、出来ることから取り組んでいきたいと思っています。（同団体 許斐）



・御所市地域婦人団体連絡協議会

<コメント>

改めて、住民運動の意義の深さを知りました。と同時に1人ひとりの意識改革と「継続は力なり」を実感いたしました。今後の抱負について、環境問題全てに於いて終着駅はありません。今後「心の環境」について自問自答していきたいと思っています。ありがとうございます。（同団体 中島）

奈良県環境保全功労賞(知事表彰) をフォーラム会員が授賞しました。

・NPO法人奈良環境カウンセラー協会

<コメント>

栄誉ある奈良県環境保全功労賞を頂戴し、一言お礼を申し上げます。弊協会は「環境省環境カウンセラー制度」の精神に則り、自然と歴史に恵まれた豊かな奈良県の創生に向けて、県民、事業者、及び行政とのパートナーシップの形成につとめ、地域の環境保全に役立つ事を目的として、地味ではありますが、積極的に実践活動を推進して参りました。設立は平成12年で、今年で丸9年を迎えますが、これまでの間、事業者へは廃棄物やCO2の削減を通じた環境経営システム構築支援、一般市民へは環境講座を通じた啓発活動、そして環境県民フォーラムへの積極的参画等、奈良県の環境保全の維持向上に少しでも貢献できればと活動してまいりました。今回の受賞はこれらを評価していただいた、環境省、奈良県をはじめ、各団体様からのご支援の賜物と感謝しております。

今後の抱負について、地球環境問題の解決に対して、低炭素社会や循環型社会の構築、および自然との共生が非常に重要となってきています。今後の環境活動の方向性としては、重点的にこれらのテーマに取り組み、奈良県の地域環境力向上に少しでも寄与したいものと考えております。カウンセラー協会も来年設立10周年を迎えますが、今回の受賞を契機に、さらなる展開を進めて行く所存です。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

（同団体 楠下）



賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは、賛助会員として活動を支援いただく企業、団体等を募集しております。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますようお願い申し上げます。

特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！り」等刊行物を送呈いたします。
2. ホームページに随時氏名（ご希望のかた）を掲載いたします。
3. 主催事業（省エネクッキングなど）に優先的にご参加頂けます。

会費
2口以上/年
(1口1000円)

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内 TEL：0742-27-8732 E-mail：kankyo@office.pref.nara.lg.jp